

# 道徳だより



テーマ：18期も続いている「新人勉強会」って？

令和6年1月  
京都市立道徳教育研究会  
広報部  
(第10号)

多様な教材で授業をつくる

～伝えたい・感じさせたい・考えさせたい～

御所南小学校

宮本 真行 教諭

## 01 教材を見るということ



# 3つの し・て・ん

▷神社やお寺の言葉、ポスターや看板など、身の回りにお宝がいっぱい！

▷見つけたら、スマホやカメラでパシャリと保存

すぐに使えなくてもOK。  
ネタ集め、楽しいですよ♪

## 視点



▷〇〇さんの実践を  
真似してやってみよう

▷導入、終末  
ちょっと工夫  
してみよう

まず、やってみましょう！

## 始点



## 実りある 授業実践



## 支点

▷授業として成立するか…  
支える「軸」は、「学習指導要領」

▷目を通すことで、自分の  
思いの整理にもなり  
ますよ♪

道徳的諸価値について、指導要領の内容項目に沿って、みんなで考えてみましょう♪

いちご狩りに行った時に撮った「1枚の写真」をもとに、授業を考えるなら…

## 「内容項目」、何を思いつきますか？

「親切、思いやり」

大きいイチゴを食べたいけれど、他の人も食べたいだろうな……………

「善悪の判断」

「勤労、公共の精神」

これだけの実をつけるために、農家さんはどんな想いで仕事をしてきたのか……

「節度、節制」

「生命の尊さ」

「規則の尊重」



学習指導要領を踏まえ、資料、教材をどう扱いたいのか、「共感的に活用」、「批判的に活用」、「範例的に活用」、「感動的に活用」…そうした視点で教材を捉える、見るのも面白いですよ。

## 02 多様なものを教材化すること

教材化のよさ

気をつけたいところ



絵本

- ☑ 読んだ後に様々な感情を与えてくれる（温かい、悲しい）
- ☑ 教訓になるようなメッセージ（絵や言葉）が含まれている → 心に残りやすい
- ☑ 内容項目（道徳的諸価値や目標）が多すぎて、指導者が考えさせたい価値が捉えさせられない

- ☑ 子どもも大人も動画が大好き 惹きつける力が強い
- ☑ 映像は、脳を一時的に停滞させ、話を聞くより、受け身になりやすい → 分かった上で、活用する
- ☑ 学習の終末等に活用する時は、そっと添えるイメージで♪



映像

他にも「先人の考え方」「伝統」など、教材化できるものはたくさんありますよ♪

# 「児童の主体性と思考を大切にした授業実践」

伏見住吉小学校 岩下 紅葉 教諭



## 導入

児童全員を同じスタートラインに立たせるために…

みなさん、「親切」したこと、ありますか？



(ある、ない、話しつつ…) 親切って、何となく分かるけど…

実際、どんなものが「親切」か、分からない…

では、「親切は、どんな気持ち」か、考える学習をしていきましょう。

## 展開前段



この絵を見て、どんなことを思いますか？

挿絵を黒板の1/3くらいの大きさにして提示

2人の「わたし」が争った…とありますが、どんな「わたし」でしょうか。

ゆずりたい「わたし」と ゆずらない「わたし」

声をかけない「わたし」と、かけたい「わたし」



「わたし」は、  
何で、声を  
かけないの？

「かけない」じゃなくて、「かけられない」んだと思う。



声をかけたい「わたし」と、かけられない「わたし」は  
どんなことを考えていたのでしょうか

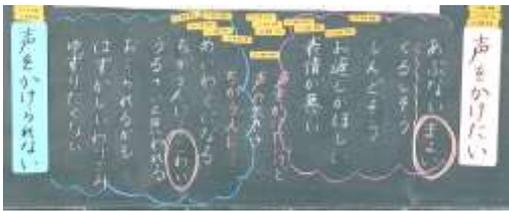


中心  
発問

「心の中の争いを終わらせた」のは、「わたし」の  
どんな気持ちがあったからだろう。

自分の思いを「確実」にもつために

- ☑ 名札で自分の考えを位置づける



多角的に思考できるように

道徳ノート（上段）に書きこむ

写真に撮り、ロイロノートで提出

提出箱の回答を共有

自分以外の意見にたくさんふれる

有意義な交流とするために

視点を与える

- ▶ 似ている、同じを見つけよう
- ▶ 違うところを見つけよう
- ▶ 聞いてみたいことを考えよう

→ 繰り返すことで自主的にできる  
ように

【児童のふりかえり】

- ▶ 困っている人を助けることが「親切」につながる
- ▶ 親切は、人に言われてするものではない。自分から、相手のことを思って、行動することが「親切」だと思う。

後日談

給食台の準備を1人でやっているのを見かけ、いつもなら「やったるわ！」と動くのに、今回は「できることあったら言って？」と伝えてから、手伝う子どもがいた。その理由を尋ねると、「1人でやりきりたいって気持ちもあるかと思って…」と、相手の想いを確認してから手伝ったそうです。

【 文責 保本 貴之（西陣中央小）】